

かたらんね〜

須恵町のスポーツ団体・文化団体を紹介します。みなさんも一緒にやってみませんか？

第15回 須恵茜会

今回は「須恵茜会」取材しました。

最近、ヒロインがかかるに情熱を燃やすアニメや映画が人気ですが、須恵町にもあります。それが「須恵茜会」。歴史があります。昭和61年頃より活動をはじめ（指導者・中村昭子さん）、途中休止をはさみながらも平成20年からは、現指導者花田和代さん（A級）のもと、かかるに励んでいます。

かるたはスポーツ？

小倉百人一首の札を取り合う競技かるた。対戦は一对一。100枚の札から互いに25枚の札を選び自分の前（自陣）に並べます。自陣の札が先になくなったほうが勝ち、というシンプルルール。しかし、奥は深い。

練習風景を拝見。激しく素早い動き。静から動への瞬発力、長時間を戦う持久力を必要とする静かで激しいスポーツ、という印象。実際、体幹を鍛えている人もいるそうで納得です。

活動状況は

コロナの影響で活動休止があり、現在の活動は10人程



緊張感のある練習風景

度で行っています。毎月第2週を除く土曜日の9:00~12:00が練習時間で、会場はアザレアホールの3階和室。練習以外の活動は、大会出場（全日本かるた協会公認大会など）。一定の成績を収めると段位の申請ができます。茜会では現在初段が3人（大会は、A~E級のクラス別にあります）。そして、須恵町かるた大会での審判、講習会の講師も務めます。

王朝の雅な和歌を頭に入れ、瞬間の躍動で札をとる。なかなか教養高い、文化的で、なぜか体力勝負のかるた。愛好者が増えているのも分かります。皆さんも、かるたやってみませんか。

議会広報を読んで

いろいろなことが知れて良いと思います。議員活動の内容が分かります。



須恵茜会の皆さん



指導者 花田 和代さん

早いもので、今年で初当選以来12年がたつ。この時は東日本大震災が起これり大混乱。経済不調、デフレ蔓延。今から思えばすごい時代だったなあと。そして安保法制や待機児童問題があり、このころ話題と言えは、コロナ、ウクライナ、物価高騰などで、年明けには子供の出生が80万人を切るという知らせがあった。今もすごい時代なのだ。

政治を良くすることは、生活を良くすることにほかならない。そして未来への手を打っていくこと。次の時代をどうするか。我々議員は「困った困った」なんて言えない。難題の解決のためにいるのだから。

ドイツの学者マックス・ヴェーバーは、政治家の資質として、「どんな事態に直面しても『それにもかかわらず』』と言いつける…人間」と語る。

難問への答えを、探して考えて創り出していく、そういう姿勢でありたい。

田ノ上 真

編集後記

発行責任者

議長：松山 力弥

広報特別委員会

委員長：田ノ上 真

副委員長：今村 桂子

委員：三角 栄重

委員：稲永 辰己